

百聞は一見にしかず

大阪教育大学 監事 野口克海

大阪の南河内にある太子中学校では、二時間目と三時間目の間に二〇分の行間運動を行っている。

二時間目終了のチャイムが鳴ると、わずかに二、三分で五〇〇人ほどの全校生徒がかけ足で運動場に向かってくる。フォークダンスの曲が流れたすと、あつと言う間に輪になって、先生も生徒も笑顔で手をつなぎながら踊りだす。

全校生徒が一人残らず、ごく自然に男女仲良く手をつなぎながらフォークダンスを楽しんでいる。

なごやかで、ほほえましい様子を見学した人は

「今どき、こんな中学校があるのか！」

と、皆、感動の声をあげる。

百聞は一見にしかずである。

保護者の一番の願いは、

「子どもが、いじめられたりせず、友達と仲良くでき、毎日楽しく学校に行つて欲しい」ということだろう。

我が子が喜んで学校へ通っているのに、学校の悪口を言いふらす保護者はいない。

先生たちが子どもの話を聞いてやる。一緒にしっかりと遊ぶ。勉強も元気に頑張る。良い評判が広がる。

学校の評判

巷の聲はどこに集まるものか

校内の放課後支援活動を情報収集の出島に

静岡大学教授 馬居政幸

四月半ば、韓国の教育改革を主導する研究者を案内して小学校の教室を活用した二つの市の放課後児童支援施設を訪ねた。保護者が働く三年次生まで対象の有料施設Aと登録すれば在校生の誰もが無料で利用できるが五時以降は有料の施設Bである。韓国側が示した関心は二つ。一つは学校施設との関係。Aは廊下側の入口が閉鎖され出入りは中庭側からで他施設の利用は不可。Bは事前申請で使用可能だが全児童対象でも専用室はAと同じ二室。自分の学校なのになぜ使えないのか、との疑問に学校側の管理責任拒否論で納得させるのは困難だった。

二つは両施設とも遊ばせるのが指導員の役割であること。なぜ勉強を教えないのかが韓国側の率直な疑問。共働き世帯の増加で、安全確保と学力向上を理由に塾通いする子どもの増加が社会問題化し、その解決策を求めて日本の放課後支援活動の調査にきたからである。

実は韓国側の疑問は、子どもを見守る指導員、預ける保護者、近所の世話人、設置と運営にかかわる市の福祉担当職員の誰もが学校と教師に対して抱いた疑問であった。巷は学校の門（常識）の外だが、教室活用の放課後児童支援は学校に開いた巷の出島のようなもの。それを学校の出島とみなせば、巷の聲は無限に聞こえてこよう。

学校の評判＝巷の声はどこに集まるものか……………7

百聞は一見にしかず(野口克海) 校内の放課後支援活動を情報収集の出島に(馬居政幸) 学校の評判はホームページとおしてメールで伝わる(明石要一) 日頃からメディア対応を考えて(中西 茂) 親の学校教育の価値観で決まるのが現実(井上敬明) 自分の子どもに対する対応(長南博昭)

「学校の教育力」があるなし評価・私のチェックポイント

やっぱり「学力調査結果」だ……………菱村 幸彦 10
 校長は学校の動く広告塔の役割を……………古川 治 12
 校長が子どもについてよく知っている。温かく語ることができる……………藤井 千春 14
 「先生」以外の来客を、どうもてなしているか……………藤川 大祐 16

「担任の授業力」があるなし評価・私のチェックポイント

「提出文書に対する誠実さ」が、子どもと向き合う教師の姿勢や授業力を表す……………神永 典郎 18
 一人ひとりの学習量が保障されているか……………横田経一郎 20
 評価者自身の授業力が試される「授業力評価」……………山本 良和 22
 「応答」と「ゆさぶり」のある授業……………深澤 広明 24

評判の学校を参観して＝考えたこと・思ったこと

学テでトップ・秋田の学校を参観して……………外池 智 26
 生活・総合の発信地、上越市の教育フォーラムに参加して……………金馬 国晴 28
 教科の枠を超えた教育・伊那小を参観して……………加納 誠司 30
 授業研究で伝統ある堀川小を参観して……………菊地 哲 32
 一人人が押し寄せる筑波大附属小を参観して……………熊谷 純 34
 近畿大学「n.a.c.c.e」英語の体験学習を参観して……………木原 晴夫 36
 附属だからできる公開研を参観して……………大内田 優 38

“学校の評判・担任の評価” 何で決まるか

連載講座

教師の人間力・キー・コンピテンシーを考える 4
 ……物語る力は教育の基礎
 学校は何を期待されているか―新指導要領が刺激したもの 4
 ……確かな学力は確かな指導から
 私から見た、全国学テの光と影 4
 ……二回の学力テストでわかったこと
 大阪「教育の陣」 4
 ……プロの教師でなんやねん
 新指導要領の学力観と学力評価の方向 4
 ……「生きる力」の軸となる「確かな学力」について
 担任への不満―親の本音の拾い方 4
 ……手づくりバスル よりよい学校づくりのための塾からの提案 4

力がある人は、今この問題の今後をどう考えているか

不登校児が通う学校……………八王子市立高尾山学園の工夫……………光岡 洋一 40
 日本一月謝が高い? 私学を参観して……………遠藤 敬 42
 特別支援で成果をあげている学校を参観して……………高橋 佳子 44

学力の質と量の問題をどう考えているか……………田中 耕治 46
 教員の研修制度をどう考えているか……………福井 秀夫 48
 一貫校の行く末をどう考えているか……………戸田 忠雄 50
 教育の情報ネットワークをどう考えているか……………赤堀 侃司 52
 現場と行政のかかわりをどう考えているか……………石井 昌浩 54

「自評と他評」が乖離していたとき＝どういう対応がベターか

まずは受容し、自己凝視を―然る後に冷静な思索と吟味を……………野口 芳宏 56
 人をどうにかしようという前に「なぜだろう」を客観的に考えることで大きな成長がある……………雨宮 久 58
 教育的タクトの発想で……………宮崎 猛 60
 自評と他評が、常に一致するものだと思わないことである……………小林 幸雄 62